

質問回答

2016年4月3日

「インド国ヒマチャル・プラデシュ州森林生態系保全・生計改善事業準備調査」

(公示日:2017年3月22日/公示番号:170064)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P.22 第2調査の目的・内容に関する事項 (24)審査資料作成支援	円借款の審査が調査期間中に実施される可能性はあると考えられるか。	審査は日印両政府の合意の上で実施されるため、現時点では未定となります。しかしながら、調査期間中の審査実施の可能性を考慮し、業務指示に審査資料作成支援を入れています。
2	P.23 第2調査の目的・内容に関する事項 (オ)ファイナルレポート	アドバンス版とは何か？	アドバンス版とは最終報告書(取扱区分 CR:公表制限)から、調査完了時に非公開とすべき内容を隠し、先行公開するための報告書(取扱区分 JR:一般)となります。具体的な非公開箇所は最終報告書及びアドバンス版作成時にお伝えします。
3	P.26 第3業務実施上の条件 5.現地再委託	「自然環境にかかる情報収集調査」となっているが、「マイクロ・ファイナンス及び金融包摂情報収集調査」の誤りか。それとも「自然環境にかかる情報収集調査」を含め4つの再委託調査を想定しているか。	記載漏れがありましたが、現地再委託を想定しているのは以下の4つの分野にかかる調査となります。 「自然環境にかかる情報収集調査」 「生活実態調査」 「NTFP 市場調査(バリューチェーン分析含む)」 「マイクロ・ファイナンス及び金融包摂にかかる調査」
4	P.11 第1指示書の適用 プロポーザル評価表	総括が森林管理/GIS・MIS 担当となっているが、GIS・MIS の部分を切り離して他の団員の担当としたときにその2名の団員の配点はいかのようになるか。	業務指示書で業務主任者に GIS・MIS 経験を求めていますので、他の GIS・MIS 団員の有無に関わらず、業務主任者は GIS・MIS 経験を評価します。GIS・MIS 経験に関する2名の評点配分は、提案いただく業務方法や業務量を踏まえて判断します。

5	P.23 第2 調査の目的・内容に関する事項 7. 成果品等 (1)	「なお、成果品とはしないが、7 月中旬までに事業のアウトラインやログ・フレーム案について取り纏めた簡易報告書を別途提出すること。」とありますが、「簡易報告書」はどのような目的に使用されますでしょうか。 また、この時点で提出すべき事業のアウトラインやログ・フレーム案については、(インテリム・レポート提出時の内容に比して)どのような内容を想定されていますでしょうか？	簡易報告書は 7 月下旬に予定しているミッションで事業のアウトライン及びログ・フレームを議論するために使用します。 また簡易報告書で求めるアウトライン及びログ・フレーム案の内容は、インテリム・レポートと同等レベルの内容を想定しています。そのため、現地再委託調査やローカルの専門家、調査補助員等を活用しての情報収集、収集した情報の分析及び分析から導き出された提案事項に基づき DPR をレビューし、事業アウトライン及びログ・フレーム案を提案してください。
6	P.26 第3 業務実施上の条件 3. 相手国の便宜供与	本件調査にあたり、オフィス等の便宜供与はございますでしょうか。またその場合はどれくらいの広さ(m ²)になりますでしょうか？	広さ(m ²)までは不明ですが、オフィス等の便宜供与は実施機関に対し、書面にて依頼していますので、オフィスの提供を受ける前提で積算をお願いします。
7	P.26 第3 業務実施上の条件 5. 現地再委託	現地再委託業務については別見積もりでの計上とさせて頂いてよろしいでしょうか？	本見積もりをお願いします。
8	P.26 第3 業務実施上の条件 5. 現地再委託	「但し、現地再委託にあたっては、・・・委託業者と契約締結以前に機構の承認を得るものとする。」とありますが、「コンサルタント等契約における現地再委託契約ガイドライン(2014 年 4 月)」に則り、現地再委託先との契約締結後に、貴機構に報告することによるよろしいでしょうか？仮に事前の貴機構の承認が必要であればその理由をご教示頂ければ幸いです。	P.4「調査の工程」に記載した通り、9 月上旬までに事業計画全体の策定を可能な限り終える必要があるため、現地再委託の効果的な活用が極めて重要であると考えています。そのため、契約締結前に、仕様書や委託先候補となる現地業者にかかる情報等の共有をお願いします。

以上